

## 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 日本人に対する一般犯罪の事例は、大使館ホームページの安全対策（邦人被害事例）に、件数及び事例を掲載している。

(URL : <http://www.fr.emb-japan.go.jp/jp/anzen/index.html>)

(2) 大使館に報告のあった日本人の犯罪被害件数は102件あり、その内スリが52件、置き引きが37件で、全体の87%を占めた。

## 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 強盗発生件数：日本人の被害件数は4件報告されている。

(2) 殺人発生件数：日本人の被害事例は報告されていない。

(3) 強姦発生件数：日本人の被害件数は報告されていない。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

以下の事件が発生している。

8月5日、パリ・エッフェル塔においてナイフを持った男の進入未遂事件

8月9日、パリ郊外のルヴァロア・ペレにおける兵士に対する車両突入事件

8月14日、パリ郊外セット・ソールのレストランにおける車両突入事件

9月6日、パリ郊外ヴィルジュイフのアパートから爆発物発見事案

9月15日、パリ・シャトレ駅における兵士襲撃事件

9月15日、ブルゴーニュ地方シャロン・シュル・ソーヌにおけるハンマー振り回し事件

## 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知されていない。

## 5 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

## 6 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。

## 7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

以下の情報について緊急一斉通報メール（INSIDE）等で発信した他、大使館ホームページに掲載した。

(1) 広域情報：ジカウイルス感染症に関する注意喚起

(2) エッフェル塔におけるナイフ所持男性侵入事件

(3) ルヴァロア・ペレ市における傭兵士に対する車両突入事件

(4) セット・ソールでのレストランに対する車両突入事件

(5) 広域情報：欧州でのテロ等に対する注意喚起（再々更新）

(6) 広域情報：犠牲際（イスラム教の祝日）期間に伴う注意喚起

- (7) 広域情報：ハリケーン・イルマの接近に伴う注意喚起（その2）
- (8) 広域情報：ハリケーン・イルマ及びホセの接近に伴う注意喚起
- (9) 広域情報：メキシコ沖地震及び地震に伴う津波に関する注意喚起
- (10) ブルゴーニュ地方におけるハンマー振り回し事件
- (11) 広域情報：ハリケーン・イルマ通過後の甚大な被害に関する注意
- (12) パリ・シャトレ駅における兵士に対する攻撃事案
- (13) 広域情報：ハリケーン・マリアの接近に伴う注意喚起
- (14) パリ・ノーマイカーデーについて
- (15) 第48回衆議院総選挙の在外投票について